

札幌市障がい福祉課における取組状況
～新型コロナウイルス感染症対策～

資料 2

◆安心して障がい福祉サービスを受け続けるための環境づくり

⇒ **障がい福祉サービス事業所における感染対策が特に重要**

〔 事業所数：約 2,500か所
職員数：約 3万6千人 〕

感染対策の推進における4つの観点

①感染者（職員・利用者）の早期発見	②事業所のサービス提供継続の支援
③事業所への感染対策の周知	④保健所の新型コロナ対応業務の応援

主な取り組みの内容

令和2年 1月	厚労省通知や札幌市からの依頼事項について全事業所に周知（随時実施）
2月	感染が疑われる職員・利用者が発生した場合の対応を周知（PCR検査受検、検査結果判明の各段階での報告など）
3月	国庫補助金を活用した感染対策補助事業を順次スタート <ul style="list-style-type: none"> ・衛生用品購入費 ・多床室の個室化などの改修費 ・通所系事業所における在宅支援で使用するタブレット端末等の購入費 ・見守り機能付きベッド等の購入費 ・陽性者等に対応した事業所の消毒費・衛生用品購入費・人件費ほか ・生産活動収入が大幅に減収となった事業所経費の一部支援ほか
4月	市内において障がい福祉サービス事業所の職員・利用者の感染を確認（濃厚接触者等の状況確認、休業判断に関する助言などを現在も実施）
	保健所への応援職員の派遣を開始（毎月）
5月	人工呼吸器を使用し、かつ、気管切開をしている医療的ケア児がいる世帯に消毒用エタノールを配布
	医療的ケア等を行う事業所に消毒用エタノールを提供（5月、7月、12月）
	濃厚接触者等に対応する事業所へ必要に応じ防護具等を提供（随時実施）
6月	人工呼吸器を使用している医療的ケア児がいる世帯に精製水を配布
	全事業所に不織布マスク等を提供（6月、12月、2月）
7月	入所施設等を対象とした研修会を開催
8月	研修用動画及び研修用マニュアルを作成し、全事業所に周知
11月	保健所への応援職員の派遣を強化（夜間・休日を含む）
	PCR検査受検等に関する事業所との連絡調整を継続（対応のピーク）
12月	事業所に対する集団指導について資料供覧の形式により実施（12～2月）
令和3年 2月	クラスター発生施設に職員を派遣し側面支援を実施
	入所施設の職員を対象とした定期的なPCR検査を開始（国庫交付金活用）
令和3年 6月	入所施設を対象にワクチン接種券登録の取りまとめを実施
	障がい福祉サービス事業所等職員のワクチン集団接種会場における優先予約の取りまとめを実施（6月～）